

防災調節池等技術基準（案）解説と設計実例 増補改訂（一部修正）について

〈平成 19 年 9 月 30 日発行 増補改訂（一部修正）版〉

既発行の「増補改訂（一部修正）版（平成 13 年 8 月 1 日発行～平成 17 年 9 月 30 日発行・第 5 刷までを含む）」との違いは、簡便法による浸透施設を併用した場合の調整池の容量算定法についての計算例等を一部修正しました。

修正箇所は下記のとおりです。（下に示すページ番号は平成 19 年 9 月 30 日発行のものです）

1. p.74 (4) 貯留・浸透施設を併用する場合の調整池の洪水調節容量

- ・ 記号の説明の変更

2. p.120～p.121 (2) 浸透施設併用

- ・ 旧計算式では、過小に算定される場合があるので、p.74 の式を基本とした。

3. p.173～p.176 4.3 洪水調節容量の算定

- ・ p.120～p.121 の計算式を用いた計算例 である (p.173～p.174)
- ・ 簡便法により設定した調整池の条件を用いた厳密計算例 (p.174～p.176)

4. p.177～p.179 4.4 貯留・浸透施設の統合計算

- ・ p.175 水位－容量特性図（水位－容量曲線）が変わったため、p.175 からの計算が異なる値となったので、p.179 の表 33 を修正した。